

## 第24回定期大会開催！



### <スローガン>

- 憲法改悪に突き進む安倍政権の暴走を許さず、あらゆる戦争政策に反対する仲間と共に国民投票で「NO!」を突きつける運動を推し広めよう！
- 第三者機関を活用した闘いの勝利を目指し、理不尽な制度運用・労務管理を打ち破るために、あきらめず・流されず・こだわった当たり前の労働運動を職場から展開しよう！
- 先達が築いてきた新幹線の安全を根本から揺るがすJR東海会社の行為を許さず、あらゆる闘いを駆使し、社会に訴えていく闘いを、大胆に推し進め、組織拡大を実現しよう！

地本は、7月8日、「UMEDA | 大阪」において第24回定期大会を開催しました。大会は、山下副委員長の司会で始まり、議長団に湊代議員（大交両分会）、鈴木代議員（名両分会）を選出して議事を進めました。地本小林委員長の挨拶に続いて、多くの来賓の方から激励の挨拶を頂きました。質疑では10名の代議員が発言を行い、各代議員の発言に執行部から答弁、本部からの感想を受けて、畑野書記長が総括答弁を行い、スローガン（案）、予算（案）、運動方針（案）を満場一致で承認、大会宣言（裏面参照）を採択し、畑野新委員長の団結ガンバローで大会を終了しました。

### 2018年度新役員体制

|           |       |       |       |       |       |
|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 執行委員長     | 畑野 浩孝 |       |       |       |       |
| 執行副委員長    | 三田 憲一 | 小林 國博 | 柳楽 関  |       |       |
| 書記長       | 浦谷 幸二 |       |       |       |       |
| 執行委員      | 森永 益充 | 笹田 伸治 | 下茂 春美 | 島津 力  | 王丸 恭市 |
|           | 渡邊 幹夫 | 宮内 省吾 | 多田 一夫 |       |       |
| 会計監査員     | 竹本 真一 | 箆島 和彦 |       |       |       |
| (退任された役員) | 山下 博  | 熊澤 守  | 山内 道廣 | 松坂 正之 |       |

## 大会宣言（案）

本日私たちは、UMEDA I 大阪において第24回定期大会を開催し、1年間の闘いの成果と向こう1年間の運動方針を満場一致で決定した。

JR東海会社は、リニア中央新幹線の建設のために大幅な効率化を強引に押し進めてきている。その結果、特にこの1年の間、新幹線車両の安全、新幹線乗務員や旅客の生命、安全が脅かされる効率化による重大な事故や事件が発生した。

昨年12月11日に「のぞみ34号」で台車枠に14cmの亀裂が入るという重大事故が発生した。JR東海会社は、博多駅発車直後から異音や異臭が発生していたことを把握していたのに新大阪駅から名古屋駅まで運転を継続した。そして、記者会見で「新大阪駅で車両点検してほしかった」とその責任をJR西日本会社に押しつけようとした。私たちは、事故発生後から独自の調査活動を行いJR東海会社に事故原因の究明と対策を求め、同時にJR東海の運行優先、営利優先の姿勢を広く社会に訴え、検査周期延伸反対、安全確立の闘いを展開してきた。

またJR東海会社は、3月のダイヤ改正で車掌を3名から2名に削減した。そのような中、6月9日に「のぞみ265号」の車内で刃物をもった男が乗客3名に切りつけるという殺傷事件が発生した。新幹線の車内では過去にも「のぞみ225号列車火災事件」「のぞみ38号刃物傷害事件」等が発生しているが、JR東海会社はこれまでの凶悪事件を教訓化し具体策を講じずに今回の殺傷事件を発生させてしまった。私たちは乗客・乗務員の生命と安全を守るために再発防止の具体策と「新幹線車内業務の見直し」の撤回を求めて闘っていく。そして、理不尽な制度運用・労務管理を打ち破っていく。

私たちは、不当なボーナスカット攻撃を第三者機関を活用した職場からの闘いで粉碎してきた。そして今、その闘いの成果を次なる闘いへと広げている。労働条件の改善をめざし出向先会社と団体交渉を実現してきた。また、年休問題の是正を求め「欠勤損賠本人訴訟」「年休裁判」を闘ってきた。職場には不満や不平が渦巻いている。職場の主人公として、あきらめず、流されず、こだわった職場からの闘いを強化していく。

安倍首相は、5月3日の憲法記念日で「自衛隊の存在を憲法9条に明記する、違憲論争に終止符を打ち、2020年に新憲法を施行する」と「憲法改正」への意欲を示した。そして、3分の2議席の改憲勢力を背景に国民投票を準備している。

私たちは、安倍政権の暴走を止め「憲法改正」を阻止するために主義・主張、思想、信条を乗り越えて、労働組合、地域の市民団体、個人と力をあわせ連帯の輪を広げていかなければならない。

私たちの課題は明確である。職場の中から、そして地域から労働条件の改善の闘い、安全確立の闘い、改憲阻止の闘いを具体的につくり出していくことである。その闘いを組織強化・拡大に結実させていこう。今がチャンスである！闘いの過程で築きあげた絆をさらに強く太くして組織強化・拡大を実現させていこう！

以上、宣言する。

2018年7月8日  
JR東海労新幹線関西地方本部  
第24回定期大会